

会 議 録

会議の名称	第1回 長瀬町小中一貫教育検討委員会
開催日時	令和6年6月27日(木)午後7時00分～午後8時32分
開催場所	長瀬町役場3階 大会議室
出席者	委員14名 教育長 事務局3名
欠席者	委員 1名
会議の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱書の交付 3 教育長あいさつ 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員長の互選 (2) 副委員長の互選 (3) 長瀬町教育委員会からの諮問について (4) 長瀬町小中一貫教育検討委員会について (5) アンケート調査について (6) その他 5 事務連絡 6 閉会
会議の公開又は非公開	公開
非公開理由	—
傍聴人の数	0名
発言の内容	別紙「審議内容」のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回長瀬町小中一貫教育検討委員会 次第 ・ 資料1 (長瀬町小中一貫教育検討委員会委員名簿) ・ 資料2 (長瀬町小中一貫教育検討委員会設置条例) ・ 資料3 (長瀬町における小中一貫教育について (諮問) の写) ・ 資料4 (第1回長瀬町小中一貫教育検討委員会 (パワーポイント資料)) ・ 資料5 (「小中一貫教育等についてのアンケート」用紙)
事務局	教育総務担当
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1 開会

2 委嘱書の交付

3 教育長あいさつ

井深教育長

4 議事

(1) 委員長の互選について

事務局)

それでは、次第の4の議事に入ります。

長瀨町小中一貫教育検討委員会設置条例第5条第2項では、委員長と副委員長は委員の互選により定めることとなっております。まずは委員長を決めたいと思います。何かご意見がある方はいらっしゃいますか。

委員)

事務局案はありますか。

事務局)

ただいま、事務局案を求めるご意見がございました。

事務局としましては、日本薬科大学客員教授としてご活躍されています、野澤直美委員を推薦したいと思いますが、皆様のご意見はいかがでしょうか。

(拍手、多数)

ありがとうございました。同意されたということで、野澤委員は前の委員長席に移動をお願いします。

(野澤委員長、委員長席へ移動)

それでは、野澤委員長からあいさつをいただければと思います。

(野澤委員長あいさつ)

(2) 副委員長の互選

委員長)

議題の(2)副委員長の互選について検討したいと思います。何かご意見がある方はいらっしゃいますか。特に意見がないようですが、事務局案はありますか。

事務局)

事務局としましては、学校長の経験もあり、学校統合準備委員会でも副委員長を

務められました堀口委員を推薦したいと思います。

委員長)

ただいま、事務局から堀口委員の推薦がありました。他の委員の方はいかがでしょうか。

(拍手多数)

皆さんの同意されたとの拍手がございましたので、堀口副委員長からあいさつを頂戴したいと思います。

(副委員長あいさつ)

(3) 長瀬町教育委員会からの諮問について

委員長)

続きまして、議事の(3)長瀬町教育委員会からの諮問についてに入ります。事務局から説明をお願いします。

(事務局から資料3を説明)

《教育長から委員長へ諮問書を手渡す》

委員長)

事務局から説明がありましたけれども、何かご意見等ございますでしょうか。特に質問はないようですので、議事(3)はこれで終了とさせていただきます。

(4) 長瀬町小中一貫教育検討委員会について

委員長)

続きまして、議事の(4)長瀬町小中一貫教育検討委員会についてに入ります。事務局から説明をお願いします。

(事務局から資料4を説明)

委員長)

事務局からの説明について、何か意見や質問がある方はいらっしゃいますか。

ちょっとお聞きしたいんですが、他の自治体等でも検討されていたり、あるいは既に中高一貫教育の実施が始まっているのか、その辺の現状もわかる範囲で結構です。ご説明いただければありがたいんですが。

事務局)

県内でもいくつかの市町村でこのような形で小中一貫教育の検討が進められているところ。近辺ですと、日高市の武蔵台という住宅街で、高齢化で子供がいなくなったということで、去年の4月に武蔵台小中学校という義務教育学校になっています。1年生から中学3年生まで全学年1クラスで、元の小学校校舎を使っていま

す。中学校の制服を廃止した等、いろいろな試みをやっています。日高市では、さらに他の地区の学校もそのような方向ということで動いています。また、飯能市では吾野にある奥武蔵小学校と中学校が隣同士に並んでるんですけど、そこは、義務教育学校ではなくて小中一貫型小学校・中学校という形で進めているところです。

あとは、坂戸の城山学園が小中一貫型小学校・中学校、旧庄和町の江戸川小中学校が義務教育学校を進めたところでございます。その他新聞等を見ますと、毛呂山町とか、志木市あたりは、公共施設までを合わせたような形の小中一貫施設を検討していると報道されています。

委員長)

他に何かご質問ございますか。

委員)

今お話を伺って、参考までに伺いたいんですけども、17 ページですか、その小中一貫の②番の併設型っていう、後でもまた出てくると思うんですけど、アンケートの方でも、別々の建屋で、近所ではあるんだと思うんですけど、別に運用するケースってのが想定として書いてあります。私自身は長瀬第二小学校だったものですから1クラスですね。小学校が1クラスで学校の運営されてっていうのは、経験もあって、何となく感覚としては、問題ないというかそういう感じなんだろうなっていう感覚は持っているんですけど、中学校が各学年1クラスで3クラスになるときに、学校そのものの規模を維持するというか、3クラスの中で先生が配置がされなかったとか、そういった運営面での課題といいますか、そういう点は何か、先にわかれば伺います。

事務局)

定数というのがございまして、そういう部分で話題になってると思うんですが、中学校3クラスになりますと、定数はかなり減ります。ですので、複数の教科を持っている先生がいらっしゃる場合は、それで一番いいんですけども、そうでない場合、臨時講師であったりそれから非常勤の先生を配置する形となります。今と同じ教員数というのは、ちょっと無理です。例えば、中学校が3クラスになると、校長先生や教頭先生の数を合わせまして9人、現況は今、8学級ですので、15人の先生が学校の方にはいらっしゃるわけです。そこから、6人ぐらいに減らされてしまう。それから、事務の先生等が3クラスになった場合には、配置がされなくなります。ですから、事務の先生に係る費用等を町教委の方で負担する、もしくは、教頭先生がやるっていうパターンもあるようなんですけれども、それはかなり厳しいと思います。そのような状況です。

委員長)

今のでよろしいでしょうか。

委員)

ちょっと今の話で、最近中学校の部活動の地域移行の話もあって、そちらの方もお話とかさせていただくんですけど、やっぱり学校の方で、今、先生が大変だっていうのもあるんですけど、生徒が少なくなることによって先生が減って、学校の業務の1人当たりの負担が高まることで、生徒への関わりの時間がさらに減るとかっていうことが課題になっているという話を先日聞きまして、なので、今回の統合によって生徒が一番メインでサービスを受ける側だと思うので、その子たちのことを考えたときに、今の話で、規模が少なくなることによって町からの職員とかが派遣されて、ある程度の教育のレベルが維持できるのであればいいと思うんですけど、もしそこが著しく低下して維持ができない話があれば、後々出てくるアンケートの中の、分離型っていう案自体が、成立するのかなとちょっと思いまして、気になります。

委員長)

これはよろしいでしょうかね。これからの問題になるかというふうに思いますけれども。

他にご質問ございますか。

しかし、定数の話を聞くと、何となくこれ寒くなって来ますね。

事務局)

現状のまま行くとということですが、このあと、変更があるかもしれませんけれども。

委員長)

他にごございますか。

それでは、議事(4)はこれで終了とさせていただきます。

(5) アンケート調査について

委員長)

続きまして議事の(5)アンケート調査について、事務局から説明をお願いします。

(事務局から資料5を説明)

事務局)

・アンケートの構成

1 ページ目にこれまでの経緯やアンケート実施の目的を記載しまして、2・3 ページ目に児童生徒数の推移予測、学校施設の状況小中一貫教育制度の解説などを

記載をしました。このような状況を踏まえた上で、町民の皆様にはアンケート調査にご回答いただきたいと思いますと考えています。

4 ページ目から、アンケート調査の内容となります。設問 1 から 3 までが回答者の属性に関わる設問、設問 4 から 9 までが小中一貫教育に関わる基本形態や施設形態に関する設問、設問 10 から 13 までが学校施設の一般利用や併設施設等に関する設問となっています。設問 14 から 18 までは旧第二小学校跡地活用に関する設問となっています。こちらの設問は、旧第二小学校跡地活用を所管している企画財政課から調査依頼があったため、載せさせていただいています。設問の内容につきましては現在調整中で、今後変更の可能性があるとのことです。こちらの設問は、基本的には小中一貫教育とは関連がない設問ですので、本委員会の協議対象ではございませんが、いただいたご意見を企画財政課に伝えることはできますので、何かございましたらご意見を頂戴したいと存じます。

- ・アンケートの調査方法

アンケート調査は、中学校 3 年生以下のお子様の保護者(6 月 7 日時点で 309 名)と一般町民の方から抽出いたしました 700 名、合わせて 1,009 名の方に対して実施したいと考えています。回答方法は、保護者の皆様につきましてはスマートフォン等による、インターネット回線を利用した形での回答を、一般住民の皆様には、アンケート用紙を郵送しまして、回答を教育委員会に返信いただく形とする予定です。

- ・アンケートの実施時期

委員会の承認をいただきましたら、なるべく早期に実施したいと考えています。

委員長)

事務局からの説明について、何か意見や質問がある方はいらっしゃいますか。

委員)

私の方から、アンケート調査と先ほど説明でリンクする点があるので、ちょっと質問っていうか、意見も述べさせていただこうと思うんですけども、これから話す根底にもですね、教育委員会の皆さんの職務負担軽減を第一に考えての発言なので、嫌味ではありません。まず、それを話しておきたいと思うんですけども、この小中一貫校の説明の中で、スライドの 11 番のところには、学校の施設の劣化状況に対する評価というのがあるわけですけども、その評価の項目の中に学校給食センターがあるけれども、アンケートの方の中ではですね、中央公民館や保健センターというものが入ってきているということなんですけれども、窓口をどんどん広げていると、教育委員会がこの後大変なんじゃないかなというふうにあえて思うので、保健センターという記述がなぜ必要なのか、その裏側に保健センターも小中一貫校

の中に入れてくってという構想があるのかどうかということが、教育委員会としてそういう考えを持っているのであれば、そういうアンケートの中に保健センターという記述があってもいいけれども、窓口を広げてアンケートの中で町民が迷わないのかなというふうな点が1点あります。それから、2点目、スライド17のところ、これから協議していく事項なんだというところでもありますけれども、アンケートの前文にはワークショップがあって、スライド18番には現地視察で長瀬中学校ということがその中であるということは、教育委員会としては、方向性としてはもう中学校の跡地っていうのを完全に見据えてやっていくんだっていう考えをお持ちなんであれば、アンケートの方向もその方向でやった方が町民が迷わなくてすむんじゃないかなと。これをいろんなパターンありますよっていうのを、窓口を広げて一般町民がどれだけ理解していただくかっていうふうなことが懸念されるので、2点目で聞いたかったのです。それから、3点目ですけれども、アンケートの8番の中にどのような課題があると思いますかっていうときに、もう、他の委員がすぐに気づいた点があるわけですが、職員定数の関係があるわけです。それで、一貫校になっていったときには、基本的に小学校も中学校も両方の免許を持っている先生方を採用するのであれば、小学校の先生が中学校の授業を持つっていう形を持っていれば、定数が減ってしまってもですね、質の高い教育ができるっていう可能性も見据えた場合に、その辺の課題っていうのを、この中の項目の中に職員の人数に変動が起こったときどう考えるのかっていうところを事前にわかっているのであれば、この辺のところの質問の選択項目の①番から⑦番までありますけれども、そういうところの記述も必要なのではないかということをおもいました。4点目ですけれども、このアンケートに旧長瀬第二小学校の跡地活用についてのアンケートというのが付いているわけですが、先ほど事務局から、この項目については企画財政課の跡地利用検討の分野からの依頼事項だっていうふうにありましたけれども、我々委員は、今の説明を聞いているので、依頼をされて、教育委員会がアンケートをどうせ取るんだらと頼まれたんだなっていうのを理解できるんですけれども、これが突然来たときに、小中一貫教育についてのアンケートをしてもらうときに、何で旧第二小学校の跡地活用のことについての質問が来るんだろうかっていうことです。一般町民は、旧第二小学校が閉校になる前後から、あそこは何に使われるんだろうなっていう関心が一番高い項目ですよ。そうすると、ここにこういうアンケートを載せることによって、跡地活用の検討委員会になってしまったらまずいなっていうふうに思うし、あくまでも小中一貫教育の検討委員会がやっていることなので、このアンケートというのは、なんかそぐわないんじゃないかなと。そうした場合には、アンケート前文のところの説明文の下から4行目、地域に開けた学校施設に向けて、

公民館機能を整備するなど書いてあるように、皆さんご承知の通り中央公民館は非常に劣化が激しいです。利用していただいている方たちにはわかると思うんですけども、こういうことを考えたときに、むしろ旧第二小学校の跡地活用をどうするかっていうことよりも、小中一貫校を作っていく中で、公民館機能まで携えた小中一貫校を作っていくのはどうなのかっていう質問であれば、一般町民の人たちは線が通っていると思うんですよね。その点で、やっぱりこのアンケートっていうのを、安易に企画財政課から依頼されたよっていうふうな形で受けちゃうんじゃないかって、教育委員会としては、筋を通して、企画財政課は企画財政課でアンケートを取ればいいことですから、教育委員会がそこまで広げる必要はないんじゃないかなっていうふうに思います。以上、全部で5点ほどありましたけれども、私からの質問というか意見になります。よろしくお願いします。

委員長)

今、委員の方から5点質問がございましたけれども、答えられる範囲で事務局のほうでお願いできますでしょうか。

事務局)

まず1点目でございます。アンケートの設問12に関してだったかと思います。これは学校施設に併せてどのような施設があったらいいかということで、1つ選んでいただきたいというような設問の中に、保健センターというものが入っているということで、これ念頭にあるのかという話だったのかと思うんですけど、特にそういったことではなくて、町が保有する公共施設のうちのひとつに保健センターというのがありますので、そういったものの選択肢として用意をさせていただいたものがあります。特に、何かこの方向に持って行きたいとか、そういったものではございません。続いて、統合に際して中学校が念頭にあるのかっていう話だったかと思いますが、全くそういったことはございません。中学校ありきでこの説明を作っているのかということのご指摘だったかと思うんですが、特にそういった意図もございません。広く皆様の方にアンケート調査をさせていただくとともに、委員の皆様にご協議をいただきたいというものでございますので、特にそういったものを設定しているものではございません。それから、アンケート調査の8番の設問だったでしょうか、先ほど委員の方からもご指摘をいただいた、教職員の人数の影響、こういったものもどのような課題があるかというところの選択肢に加えた方がいいんじゃないか、というようなご指摘だったかと思います。あらためて、事務局の方で検討させていただきたいというふうに思っております。それから、旧長瀬第二小学校の跡地活用のアンケートをここに含めない方が良いのでは、といったご指摘をいただいた、まさにご指摘いただいた通りなんですけれども、今回のアンケート調査は、先

ほど申し上げました通り、1,000名を超える方を対象に実施させていただき予定となっております。世帯数でカウントいたしますと、中学3年生以下の方の保護者に向けてのアンケートと、あと一般住民の方に対してアンケートを実施するわけですが、それは世帯がかぶらないように形で設定をさせていただき予定でございます。つきましては、町内で1,009世帯の方に調査をさせていただきアンケートとなっております。世帯のカバー率から言いますと、長瀬町の世帯の35%を今回カバーさせていただき形になります。なかなかこういった大規模なアンケート調査をするということもあまりないということ、また、それなりに、いろんなコストもかかりますし、手間もかかるということもありまして、教育委員会の方でアンケート調査をするのであれば、一緒にやっていただけないかというような依頼があったものでございます。そんな中で、ちょっと違和感があるというようなご意見をいただきましたけれども、その辺はですね、このアンケートの冒頭に書かせていただいたこの文章の中とかそういったところでちょっと工夫をさせていただいて、この小中一貫教育検討委員会がこの第二小学校の跡地活用について検討するわけではなく、それはまた別の形で検討させてされていくものと承知しておりますので、そういった形の何かわかるような表記等を追記させていただきような形でやらせていただければなというふうに思っております。今、事務局の方では、別葉にする、送るのは一緒に送るけど回答を別にするというような案も出ておりますけれども、何か考えさせていただいて、区別を何らかの形でしたうえで、こういった形でやらせていただければなというふうに思っております。また、公民館につきましては、先ほども長寿命化計画等を説明させていただいたんですけども、やっぱりあの公共施設というもの、人口も減ってたりもするのでそういった公共施設を複合化していくという流れが非常に強くなってございまして、その一環で、選択肢として公民館というものを入れさせていただいているものでございます。

委員)

であるならば、やっぱり今の説明を受けてよくわかりましたので、別刷するんであれば、冒頭の小中一貫教育等についてのアンケートの前文は生きると思うんですけども、一緒の文であるんであれば、全面的にはないから、長瀬町の将来の教育についてのアンケートと違っていうふうにしてもらったり、仮ですけど、工夫をしてみらうのが、一般町民は、なんていうんですかね、関心度が人によって違ってますんで、やっぱり、あの二小の跡地がどうなるんだろうかっていうのを、毎日、道を通るたびに関心を持っているし、私も統合準備委員会の席上でも、統合準備委員会としては跡地活用についても触れておいて、いくらか諮問をした方がいいんじゃないですかという意見を言ったときに、そこはそういうことをする場ではないって

ということで確認されてますので、今回も、小中一貫校の教育をどう推進するかを検討委員会なので、あくまでも跡地活用っていうのからは離れるっていう形を明記してるような形にしていかないと、教育委員会の方がいっぱい仕事量が増えてしまうんじゃないかなっていうのを懸念して、ちょっと言いづらいようなことも、また嫌味っぽく言っちゃったんですが、決して悪く思わないでいただきたい。

事務局)

ご配慮いただきましてありがとうございます。何かしらの方法で、ちょっと工夫をさせていただければと思っております。

委員長)

大事な意見でしたので、ご検討の方をお願いしたいと思います。

それから委員長の方から質問で申し訳ないんですが、町民の方々は、小中一貫校っていうのは、既に何か他のところでもここに発せられてるんでしょうか。

事務局)

学校のあり方検討委員会というものが開かれた際の答申として、小中一貫校導入すべきというような答申をいただいておりますので、そこが起点だと思います。その際に、広報紙等でお知らせしています。

委員長)

意外に、小中一貫校って何だろうっていうようなね、なんかそこでもう抵抗を示すっていうんですかね、違和感を感じるような、そういうふうな気持ちを持つ町民の方がいらっしゃるかもしれないんで、何かその辺のところも前文のところでも少しわかりやすいような文言が入るといいかなっていうふうには思ったんですが。

事務局)

はい、ありがとうございます。ちょっとその辺も含めて、考えさせていただければというふうに思います。また、今回の委員会についても、また何らかの形で広報紙に掲載するなりチラシにするなり、広報を図っていきたいと思っております。

委員長)

町の大きな課題、問題ですので、できるだけ町民にいろいろな機会に、こういうふうなのが始まっているだろうとか、小中一貫校についての何かそれだけではなくて結構なんですけど、並列的な形の中で町民に知らせる、何回も何回も知らせる機会があればいいかなというふうに思います。他にご意見ございますか。

委員)

さっき出た質問に近いんですが、12番の設問の選択肢で、給食センターがありますよね。多分アンケート結果は発表するんじゃないかなと思います。1番とか3番とか4番っていうのは学校に行ってる人とか、お子さんがそこに行っていない人でも、

あったらいいかなとかっていうのを選ぶ方法としてあるかなと思いますが、給食センターが一緒の方がいいっていうのを選ぶ人がどれだけいるのかなというふうに、ちょっと思いました。もし、今後老朽化とかさっきの話で、この給食センターを最終的に統合しようかなというふうに思ったときに、他のアンケート結果を出したときに、アンケート結果としては一番低く出てるんだけど、でも優先的に老朽化だから一緒にするよみたいなことがあると、ちょっとちぐはぐなことにならんかなと。なので、ちょっと質問するものとしては、特にいいんではないかというふうに個人的には思いましたが、どうでしょうか。

委員長)

今のご質問について、事務局いかがですか。

事務局)

ご指摘いただきました点につきましては、またあらためて検討させていただきたいと、考えさせていただきたいというふうに思います。

委員)

この設問で、ひとつしか選べないんですけどこれって何かあるんですか。

事務局)

選択肢が実質4つと少ないので、ひとつとしているものです。設問全体をちょっと見直して、もうちょっとわかりやすいような形にしたいと思います。

委員長)

アンケートの13番で学校施設で残したいものがあれば教えてください。これはアンケートで必要なんですかね。

事務局)

何かあればというようなところで、例えばモニュメントとか学校の行事みたいなものとか、そういったものもあればという形でお聞きしたものでございます。

委員長)

小中一貫校にできるだけ絞るようなアンケートで攻めていった方が、町民の方を答えやすいだろうなというふうには思うんですね。ご検討いただければと思います。他に何かございますか。

委員)

初歩的な質問なんですけど、例えば9番の設問で、小学校、中学校は校舎を新設するというアンケートが、一番多かったとしたら、それは実現可能なのか。どんな会議に出てくるかなんて家族と話して、こんなアンケート来てるんだよなんて話をしたら、子供が新しいのが良いに決まってんじゃんって、これ一択なんですよ。もう新しい学校で、新しい気持ちで勉強したいのは子供は望んでることだと思うんで、

子供の家庭にあって、親も多分そうだと思います。これが一番にボーンと来たらそれが実現可能なのか、一番気になりました。予算的なものもあるし、それを考えずにアンケートに書いて良いのかっていう、親の思いそういうのも考えたら、例えば改修するのは、いくらか金額も出てますけど、新設するならざっくりいくら、何かそういう比較対象がないと答えづらいなっていう、第一印象がありました。何も考えずに子供みたいに1番に丸でいいんだったら、それはそれでいいんですけど、そこまで大々的なアンケートにして、そんなに簡単に答えていいのかなって。いうのが、それだけちょっと意見させてください。

事務局)

おっしゃっていただいた通り、施設でどのぐらいかかるのかっていう費用がわかるとすごくわかればいいんだろうなとは思いつつも、どういった形態になるかによって施設の整備費用は相当変わってきてしまうので、なかなかお示しするのが難しいというような状況の中で、まずは皆様の考えとしてどういった施設形態をお望みかというものをアンケートで回答いただきたい、というものでございます。実現可能なかというご指摘、まさに財政的な負担は結構あるだろうというふうに当然思われるわけですけど、先ほども申し上げました通り、今ある学校施設を維持するためにも相当な金額がかかると、さてどうするかっていう話になってきてしまうのかなというふうに思っています。施設の老朽化の話はちょっと触れさせていただいてる中で、そういった形、町民の皆さん、何を今お考えになってるかというものをアンケートで回答いただきたいというものでございます。また、小中一貫教育の形態どういった形がいいか、施設形態を一体型にするのか、分離型とするのか、それに伴ってどのぐらい費用がかかるのかっていうのを、またあらためて試算をさせていただきたいと思っている事項でございます。それは、この委員会に報告というか、かけさせていただく形になるかなというふうに思っております。

委員長)

他にご意見ございますか。

委員)

私も本当に基本的なことで申し訳ないんですけど、小中一貫教育ということで、①の義務教育学校と②の併設型小学校・中学校っていうのがあるんですけど、小中一貫でいうと誰もがひとつの校舎に小学校、中学校っていうふうになるだろうっていうのを多分想像してると思うんですけど、この②番っていうのが方法としてあるっていうのは、これ②番で、今の学校の形態と同じですよ。でもどう違うのか、一番のメリットというか、デメリットをそれぞれ何か教えてもらいたいなっていうか、多分、町民の人多分①番しか考えてないんじゃないかなと思うんですけど、

その辺をお願いいたします。

事務局)

この点、町民の皆さんがわかりづらいと思われることのひとつだと思います。義務教育学校かあるいは小中一貫型小学校・中学校かというのは、これ施設の設備の問題ではございませんで、あくまでも概念の話でございます。大きな違いとしては義務教育学校は校長先生が1人で教員組織がひとつ。建物は別々でも構わないです。ここ、イメージしづらいですよ。義務教育学校でも一体型、隣接型、分離型この3パターンが取れるとされています。小中一貫型小学校・中学校も、校長先生2人、教員組織ふたつ、だけど建物一緒ってこともあります。施設の形態と運営の形態っていうのは別の議論になります。このうな図が書いてあると、もしかすると、物理的にこの学校が分かれているんじゃないっていうふうに思われがちなんですけど、あくまで概念の話で、物理的に一緒かどうかっていうのは、施設一体型か隣接型か分離型。これは義務教育学校であっても、あるいは小中一貫型小学校・中学校であっても、どの形態でも取れるというふうにされています。ただ、これはちょっといろんなご意見あると思いますけど、この分離型でその小中一貫教育がどの程度できるのかっていうのはなかなか難しいところがあるのかもしれないけども、それはいろいろな市町村の中で、規模感ですとか、形態とかがあってのはあるかなというふうに思います。長瀬町では、まずはその義務教育学校がいいのか、校長先生がひとり、教員組織がひとつのパターンがいいのか、それともそれぞれの校長先生や教員組織があった形がいいのか、今言ったのは義務教育学校か小中一貫型小学校中学校がいいのかということになります。それとは別に、校舎が一緒がいいのか。あるいは、近くに併設であった方がいいのか、あるいは今みたいに、全然離れたところにあった方がいいのかという、長瀬町で導入する場合には、どれがふさわしいと思いますかっていうものをアンケート、あるいはこの委員会で協議をいただきたいというふうに思っております。

委員)

すいません、今みたいな説明でアンケートを書いてもらえるとよろしいのではないのでしょうか。

事務局)

申し訳ございません。そうですね、アンケートの説明にある図、これ一番わかりやすいかなっていうか、これ文科省の図をそのまま引用させていただいてるものなんですけれども、ちょっとこの辺の説明がわかりづらいよねっていう話かなと思いますので、もう少し説明書きを工夫します。いずれにしろ、目標としては義務教育学校でも小中一貫でも9年間の目標と一緒になんですよね。形態が違うというところ

なので、その辺のところをどうやるかっていうところだと思います。どうせだったら1人の校長先生がいる方がやりやすいんじゃないって思うかもしれませんが、1人の校長先生の役割はすごく増えちゃいますよね。今の中学校の校長先生が小学校の分まで見なくちゃいけない。先生たちの立場からしたら、いや仕事増えちゃうじゃないかよっていう場合もあるかもしれないし、逆に2人いることによってひとつの目標が連携しづらいついていうようなデメリットもあると思うので、そういうところを何かわかるものを簡単にわかるような形で少し工夫をしてみたいと思います。先ほど説明した中で、県内では今、義務教育学校は春日部市の江戸川小中学校と日高の武蔵台小中学校2校しかないです。この4月からちょっと増えてるかもしれません。

委員)

今回、事前に配布された資料の2の裏側にある説明っていうのは、結構、アンケートのときに必要な説明ではないかと。ここには、施設一体型がどうだ、隣接型がどうだ、分離型がこうだよっていうのも書かれている。そんなのもうまく入れてみたら良いのではないかと思います。

事務局)

ありがとうございます。何かそういった工夫をさせていただきたいというふうに思います。

委員長)

それでは、アンケート、大事なことであったんですが、皆さんからの意見を出していただきました。それで、これに基づいてまた事務局の方で少し修正をしていたくというふうなことで、その修正をしたものどうでしょうか、一度送っていただいて、委員の皆様にご了解いただくということではいかがでしょうか。

事務局)

修正を加えたものをお示するという形をとりたいと思います。

委員長)

それでは、アンケートに若干の修正が入るというふうなことで、また委員さんの方に説明も郵送で送っていただくというふうな形をとっていただければと思います。そういう流れでアンケートについては、よろしゅうございますか。また出てから、それをまた議論するというようなこともあるかというふうに思いますけれども、大変なアンケートの内容ですので、十分時間をかけていければというふうに思っております。

他に、何かご意見ございますか。

よろしいですか。それでは、議事(5)はこれで終了とさせていただきます。

(6) その他

委員長)

続きまして議事の(6) その他ということで、何かございますでしょうか。よろしいですか。それでは、議事(6)のその他は終了とします。

委員長)

それでは、予定をしておりました議事は全て終了しましたので、本日の議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

5 事務連絡

事務局)

次回の委員会の日程は、予定としましては8月下旬を考えておりますが、アンケートの状況にもよりますので、また、あらためて調整をさせていただきます。

委員報酬の支払いにつきましては、町に登録されている口座に振り込ませていただきます。報酬の支払いに際しまして、マイナンバーの確認が必要となります。必要な方には、あらかじめ必要書類を送付しましたので、後ほど提出してください。

6 閉会